

まえさわ
前沢小学校

前沢小学校は明治6年、町内下小路、平小路、二十人町の3箇所に分かれて開校しました。

城下町だった前沢は、明治初年代まで三沢家家臣の子弟が学ぶ「進脩館」があつたほか、江戸や仙台で学問を学んだ樋口閑斎や阿部默斎などの儒学者がおり、少なくとも7つの寺子屋があつたことが分かつています。明治になって開校した前沢小学校で、彼らが子どもたちの指導にあたり、地域における教育の土台を築いたと考えられています。

自分でよく考え、豊かな心でたくましく実行する子どもへの育成を目指してきた前沢小学校。商店街と連携した「商人体験あんど」などの事業に取り組んできました。



所在地：前沢区字下小路 52
児童数：353 人

上野原うわの小学校はら

上野原は胆沢扇状地の中段段丘にあたり、昔から水の確保に苦勞してきた地域です。干ばつに悩まされながらも、開拓者としての「上野原魂」で知恵をしぼって稲作や畑作の他に畜産、養蚕などさまざまな産業を定着させてきました。

明治初めには20人ほどだった人口は、明治末期以降の田畑の開墾と堤や用水路の整備を経て、昭和36年には千人近くに。子どもたちは、前沢小学校までの長距離を歩いて通っていたため、27年に前沢小学校の分校を設立。30年に独立校として上野原小学校となりました。



所在地：前沢区字養ヶ森 44-2
児童数：54 人



古城小学校 6年

吉田麗良さん(12)

古城小学校では、月に一度
“あいさつ運動”をしています。
登校の時間に、計画委員が校
門の前であいさつを呼び掛け
ています。鼓笛隊も頑張っ
ていて、運動会の前には一生懸
命練習しました。

卒業式では、ピアノ伴奏を私が担当します。頑張って練習しているところです。

統合する小学校も、元気に
あいさつができる学校になっ
てほしいと思っています。

上野原小学校は“上野原魂”を合言葉に、子どもたち自らさまざまなことに積極的に取り組んでいます。大黒舞や上野原太鼓などの伝統芸能活動も頑張っています。

児童数が少なく、みんなが仲の良い学校。親同士も仲が良く、助け合いながら学校行事などにも参加しています。

私も卒業生の1人で、母校がなくなるのは少し寂しい気がしますね。



上野原小学校 P T A
文化部 副部長

千田真由美さん(37)

白鳥しろとり小学校



所在地：前沢区字合ノ沢 105
児童数：44 人

白鳥地区は街道が通る交通の要で平安時代から「白鳥」の地名で呼ばれていました。また、北上川に面する白鳥館遺跡は奥州藤原氏が舟で交易をしていた「川湊かわみなと」であったと考えられています。また、同地区は全域が亜炭の埋蔵地。1930年ごろには工場や風呂の燃料として、地区内で亜炭が盛んに掘られていました。白鳥小学校は明治6年に開校。明治8年から前沢小学校の分校となり、明治13年に時習ときじく小学校という名で独立しています。明治21年に白鳥小学校となりました。

知・徳・体の調和の取れた、人間性豊かな子どもの育成に力を入れてきた白鳥小学校。白鳥子ども神楽の伝承も継続的に行ってきました。

古城こじょう小学校



所在地：前沢区古城字東見寺下 15
児童数：112 人

明治6年に設立した小山おやま小学校、
中畑なかばたけ小学校、関簡易せき小学校が統合し
て古城小学校となりました。

明後沢遺跡で古瓦が見つかったんですが、かつてここに大きな城があったとの伝承にちなみ、明治8年に小山村と中畑村が合併する際に古城村とつけたものです。校門付近の柳の木は学校のシンボルとして親しまれ、それがとても印象的な風景の学校です。

古城小学校では「かしこく、あたたくく、たくましい『やなぎつ子』」の育成に力を入れてきました。また地域住民と協力しながら、学校近くの水田を活用した農業体験を行うなど、自然との触れ合いを大切にしてきました。

前沢区内小学校の主な出来事																																																										
明治6年	前沢・白鳥・母体・赤生津小学校開校	8年	白鳥、目呂木小学校が前沢小学校の分校となる。	13年	目呂木分校が目呂木小学校として独立	18年	母体小学校が谷地前に新校舎建設（白田の2階建て校舎）	19年	赤生津小学校が生母字長根に新校舎建設（平屋建て校舎）	20年	前沢小学校を前沢尋常小学校と改称	21年	白鳥小学校を白鳥尋常小学校と改称	時期不明	母体小学校を母体尋常小学校と改称	時期不明	赤生津小学校を赤生津尋常小学校と改称	22年	古城尋常小学校と関簡易小学校が統合	25年	学区を分離して古城尋常小学校と小山尋常小学校に分かれる	26年	前沢尋常小学校に高等科を設置し前沢尋常高等小学校と改称	36年	下小路に前沢尋常高等小学校の新校舎落成（平屋建て瓦葺工の字型校舎）	37年	北羽毛に母体尋常小学校の新校舎落成（洋風平屋建て）	40年	赤生津尋常小学校が新校舎落成（平屋建て校舎）	42年	古城尋常小学校と小山尋常小学校が統合して古城尋常小学校となる	44年	白鳥尋常小学校の敷地を拡張し、校舎を改築	2年	六日入尋常小学校、上麻生尋常小学校が統合して白山尋常小学校と改称	2年	赤生津尋常小学校と母体尋常小学校が統合して生母尋常小学校と改称（母体分校、赤生津分校となる）	12年	古城尋常小学校に高等科を設置し古城尋常高等小学校と改称（東見寺下に統合小学校建設）	昭和7年	生母尋常小学校に高等科を設置し、生母尋常高等小学校と改称	大正元年	生母尋常高等小学校が生母字新田に2階建て校舎新築移転	2年	生母尋常高等小学校の新築校舎落成（洋風平屋建て）	12年	白山尋常小学校に高等科を設置し白山尋常高等小学校と改称	14年	古城尋常高等小学校の正面校舎を2階建てに改築	15年	前沢尋常高等小学校の増築校舎落成（木造総2階建て）	16年	生母尋常高等小学校を洋風2階建てに（2教室を増築）	20年	全ての学校を国民学校と改称	22年	白山尋常高等小学校が火災により小学校舎全焼。社寺、民家などを借用して分散授業を行う	全ての学校を小学校と改称。全国的に学校給食が開始

※次項へ続きます